

藤中だより 2月号



平成27年2月27日
京都市立藤森中学校
ホームページアドレス
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/fujinomori-c/>
Eメールアドレス
fujinomori-c@edu.city.kyoto.jp

何かを求めるように、母子手帳を見つめる木原喜子さん(27)。「……生きていたら私にどんな言葉をかけてくれるだろう?」。わずかな記憶を頼りに母を思う。年を重ねるたび、亡き母を慕う気持ちは強くなる…。

20年前の1月17日。突然襲いかかった阪神・淡路大震災。兵庫県西宮市の自宅は倒壊し、小学校1年生だった彼女は、大好きだった母と兄を失ってしまう。

その後、父と姉との3人暮らしが始まるが、その生活も中学2年のときの父の病死で急変。彼女は1人、福岡県の伯父に引き取られることとなった。「命」について、漠然と考えるようになる。高校卒業後は兵庫県に戻り、両親が残してくれたお金で看護系の大学に通う。小学校1年生で失った「母親」という存在への憧れから、彼女が選んだ職業は助産師の仕事だった。

「命の誕生」の場面に立ち会う助産師という仕事。だからこそ、いっそう深まる思いがある。「私を生んだ時、どんな気持ちだった?」「どんな恋をして、結婚したの……?」そんなことを母に訊(き)くことができる周りの女性がうらやましい…。



母子手帳を見つめる木原さん

がれきの中から見つかった母子手帳。この手帳は唯一、亡き母と彼女との距離を縮めてくれる宝物だ。

1歳3カ月に引っ越してから、遊び道具がふえ、(きょうだい3人の中で)一番楽しそうにしています

2歳のお誕生日には、グー、チョコキ、パーができます…運動神経は発達しているようです…



母の字でびっしりと手書きされた成長の記録。彼女に注いでくれた愛情の深さを感じる。しかし、その愛情の深さを知れば知るほど、彼女の後悔も深くなった時期もある。——「先に子どもたちを助け出してくださいっ!」今も耳に残る20年前の必死な母の声。最後にがれきの中から救助された母は病院に運ばれる途中で息を引き取った。「もし、あのとき……」と、考えてもしかたのないことで自分を責める日々…。

母との最後の時間を思い出すことが辛く悲しいのは変わらない。だが、母子手帳の母に出会えたことで、「20年たっても母のことを忘れずにいられることが嬉しい」と素直に語る。震災以降、多くの人たちに支えられながら生きてきた。起こったことは変えられない。しかし、震災を経験したからこそ得られたものもある。

4年前に起こった東日本大震災。とある縁(えん)から、被災地で自分と同じ境遇の遺児たちの話を聞く機会があった。その中に、彼女と同様に、強い後悔を口にする子がいた。どんなに辛かったことだろう。かける言葉は見つからない。それでも、彼女は心から思ったという。「あなたが生きていてよかった」と。

今、生きている。あなたの「いのち」はそれだけで『希望』なんだよ。



自分の「いのち」に直接つながる人びとを失ったからこそ、はっきりとわかったことがある。それは「いのち」はそれだけで『希望』だということ。今ある「いのち」には、自分につながる無数の人びとの思いが、愛情が織り込まれている。「いのち」は愛情から生まれたんだと。

安心して足を踏み出したらい。あきらめることなんてないんだから…。

4度目の3.11に近い。木原さんのように、20年前に神戸で被災した人が東日本大震災で被災した人に寄り添う姿も多く見られる。「いのち」のつながりは実に複雑で深く、不可思議だ。そしてなにより、人がもつ「他とつながる力」から生まれる無限の可能性に、未来を見る思いがする。

あきらめちゃいけない、いや、あきらめる必要なんてこれっぽっちもありませんのだ。私の、あなたの「いのち」がもつ底知れぬ力はハンパない。今は思い描いたように進んでいなくとも、安心して全力で前に進んだらいい。君の中にある、君の手に宿る「いのち」は、それだけで『希望』なんだから。さあ、あの人の笑顔のために、そしてなにより自分の笑顔のためにも一歩また一歩、地面を踏みしめていこう。



1年生「人権学習発表会」

2月12日(水)午後、3学年のトップを切って行われた「1年生人権学習発表会」。昨年4月8日の入学式からの1年間を、「つながり」をテーマにして振り返るという形式での発表です。「素直」「感謝」「想像力」の大切さを述べるクラス。話し合うことの大切さについて発表するクラス。また、学年評議会からは「よいところも悪いところも補い合えるのが『つながり』だ」といった言葉がありました。子どもたちの力で「考え」「企画」し、「発表」できたこと。大いに拍手を贈りたいと思います。また、寒さ厳しい中をご参観いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



2年「人権学習発表会」

2月13日(金)、2年人権学習発表会は実にさまざまな内容だった。共通するのは、水平社宣言の学びから生み出した『学級宣言』。「口組に〇〇あれ。みんなに〇〇あれ。」にクラスの個性がにじむ。「いじめをなくす。言葉だけでなく...」という訴え。少年兵の現実から「自分の意志を持ち、相手に伝えていこう!」と学んだこと。また、「あいさつの大切さ」を劇で演じたクラスやマララさんの演説、ガンジーやマザーテレサについて発表するクラスなど、まことに多岐にわたる発表内容でした。

最初に生徒会本部から東九条マダンについての発表がありましたが、藤中で学ぶのもあと1年間です。さまざまなことを知り、感じ、考え、行動していきましょう!



3年「人権学習発表会」

2月19日(木)6限に行われた3年生の発表会。放課後に校外へ出てアンケート活動を行ったHAT(ハット)を中心に、アンケートのまとめとその考察、3年生教職員の発表、そして3年生全員での群読といった内容の発表でした。

特にHATの皆さんは長期間にわたり、本当にお疲れさまでした。谷川俊太郎の詩にヒントを得て創った「学年の人権の詩」。その中にあった「誰もが自由に生きられる幸せな世界」を創っていくための意志を、今後も持ち続けてほしいと思います。練習する時間が足りなかった

今回の発表会でしたが、学年主任の先生の言葉にあったように、これがゴールではありません。



♪ 風が吹く港の方から 焼け跡を包むようにおどす風 悲しくてすべてを笑う 乾く冬の夕(ゆうべ)・・・すべてをなくした人はどこへ行けばいいのだろう それでも人はまた汗を流し 何度でも出会いと別れを繰り返し 過ぎた日々を胸に いつか見た夢を目指すだろう・・・解き放て 命で笑え 満月の夕♪ HEATWAVE『満月の夕』20年前の震災の日の晩、凄惨(せいさん)な地上を満月が照らしていた。だから、満月を怖がる人も多くいたという。そんな神戸の震災から生まれ、今、東北の被災地の力ともなっている歌の一つ『満月の夕(ゆうべ)』。とあるいきさつから歌詞が2種類ある珍しい歌だ。強く静かに、今も歌い継がれている。人々の幸せを希求して...

3年生のみなさんへ

最後の大きな山——「公立高校中期選抜入試」。3月6日は、持てる力が出し切れることを祈っています。

この日のために、大いなる努力をしてきたことでしょう。最後の最後まで、自分の体中のすべての細胞、約60兆個(60000000000000)を総動員して、この日に臨みましょう!

(0が13個もあるすごい数だ! 君たちのカラダには、こんなにたくさん力の素がある!)

さて、緊張したり^{あせ}焦ったりしたときのために、学活のときにつくった「合格お守り」がある!

みんなからのメッセージが、きっと君の力を最大限に発揮させてくれるに違いない。



News



祝 ラグビー部 2年連続 新人大会優勝!

2月22日(日)宝ヶ池球技場において行われた決勝戦。安定した試合運びで、2年連続2回目の優勝を飾り、11月の近畿大会優勝に続き、輝かしい結果を残しました。

男子バレーボール部 近畿大会出場!

また、男子バレーボール部の京都府予選大会。準決勝で敗れはしたものの、近畿大会出場をかけた試合に勝利し、みごとにその切符を手に入れました。3月の大会では、いい活躍を見せてくれることと思います。

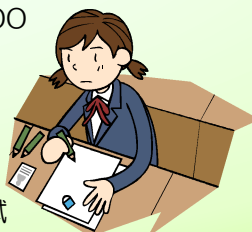
京都市アナウンスコンクール(朗読部門)

優秀賞 Mさん(2年)
審査員特別賞 Sさん(2年)



3月のおもな予定

- 3/2(月) 下校時間変更 完全下校 18:00
- 3/3(火) PTA実行委員会 14:00
- 3/4(水) 1年 球技大会(午後)
- 3/5(木) 2年 球技大会(午後)
3年 公立事前指導
- 3/6(金) 公立高校 中期選抜入試
評議・各種委員会
- 3/9(月) 3年 校外学習
- 3/11(水) 3年生を送る会



- 3/12(木) 卒業式予行
- 3/13(金) 第67回 卒業式
- 3/16(月) 公立高校 中期合格発表
- 3/19(木) 1, 2年 給食最終回
- 3/20(金) 修了式
- 3/26(木) 転退職者発表 12:00HP
- 3/31(火) 離任式 9:00~
- 4/6(月) 始業式 7(火) 入学式

